

令和5年度 各団体の主な取組

医療保健分野

一般社団法人 安芸地区医師会	2
一般社団法人 安佐医師会	3
一般社団法人 広島市医師会	5
一般社団法人 広島県歯科衛生士会	6
公益社団法人 広島県栄養士会	7
公益社団法人 広島県看護協会	8
広島市域薬剤師会	9
広島市歯科衛生連絡協議会	11

職域保健分野

独立行政法人 労働者健康福祉機構 広島産業保健総合支援センター	13
広島商工会議所	16
広島中央労働基準監督署	16

医療保険者

健康保険組合連合会 広島連合会	18
全国健康保険協会 広島支部	19
広島県国民健康保険団体連合会	20

健康づくり分野

一般社団法人 広島県生活衛生同業組合連合会	22
一般社団法人 広島県精神保健福祉協会	22
一般社団法人 広島市食品衛生協会	22
公益財団法人 広島原爆障害対策協議会	23
特定非営利活動法人 日本健康運動指導士会広島県支部	25
特定非営利活動法人 ひろしまレクリエーション協会	27
広島県禁煙支援ネットワーク	27
広島県スーパーマーケット協会	28
広島市スポーツ推進委員協議会	28

地域団体

公益財団法人 広島市老人クラブ連合会	29
社会福祉法人 広島市社会福祉協議会	30
特定非営利活動法人 広島市公衆衛生推進協議会	31
広島市学区体育団体連合会	31
広島市子ども会連合会	32
広島市地域女性団体連絡協議会	32
広島市民生委員児童委員協議会	32

医療保健分野

【一般社団法人 安芸地区医師会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	循環器疾患	○ 学術講演会の開催 日時：令和5年6月22日（木） 演題：高齢・超高齢心房細動患者の抗凝固療法 講師：土谷総合病院 循環器内科 副部長 尾木 浩 先生
	次世代	○ 学校医委員会の開催 令和5年度3回開催 ○ 運動器検診検討委員会の開催 ○ 海田町の小中学校及び坂町の中学校姿勢（脊柱側弯症）検診の応援医師の調整及び実施 ○ 第10回安芸地区医師会・教育委員会連絡協議会 日時：令和5年9月29日（金） 内容：①運動器検診実施結果 ②心臓検診及び検尿検査での要精査児童生徒の検査結果、専門機関受診率、疾患などの把握状況 ③学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアル ④3D バックスキャナー ⑤広島市公立小中学校における健診用オージオメータ校正及び更新実態調査の変遷 ○ 安芸地区学校医・養護教諭連絡協議会の開催（予定） 日時：令和6年2月1日（木） 内容：特別講演 演題：「子どもの救急疾患について」 講師：広島赤十字・原爆病院 救急集中治療科 木田 佳子 先生
	働く世代	○ 産業医実地研修会 日時：令和5年10月19日（木） 内容：講演：化学物質管理で快適職場 講師：広島産業保健総合支援センター 産業保健相談員 山岡 和寿 様 ○ 産業医・衛生管理者等研修会の開催 日時：令和5年11月2日（木） 内容：講演Ⅰ）演題：最近の労働衛生行政 講師：呉労働基準監督署 署長 堀江 昭爾 講演Ⅱ）演題：うつ病患者等の職場復帰について 講師：広島産業保健総合支援センター 産業保健相談員 加賀谷 有行 先生 ○ 安芸地区産業保健推進協議会の開催 日時：令和5年11月2日（木） 内容：1）安芸地区産業保健推進協議会の運営 2）広島地域産業保健センター健康相談窓口業務及び呉市個別訪問指導の実施報告 3）次回開催日と研修テーマ ○ 広島地域産業保健センターの相談窓口業務の開催 日時：毎月第4木曜日 13時30分～15時30分 （令和4年度実施回数 22回）
基本方針②	高齡世代	1 広島市在宅医療・介護連携推進事業への協力 平成27年度より安芸区地域保健対策協議会が実施している上記事業について、推進委員会、多職種連携の研修会、資源マップの作成、市民公開講座等を協力・実施している。 2 居宅介護支援事業の展開 在宅介護が必要な地域住民が安心して在宅療養ができるよう、介護保険の趣旨にしたがってケアプラン作成し、サービスの提供・確保を通して、地域住民の健康福祉の増進を図る。 地域の要介護者の介護支援を実施する目的で、府中町、海田町、熊野町に居宅支援事業所を展開して介護認定審査申請書の作成やケアプラン作成等の介護支援事業を行う。

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	1 広島市在宅医療・介護連携推進事業への協力 平成 27 年度より安芸区地域保健対策協議会が実施している上記事業について、推進委員会、多職種連携の研修会、資源マップの作成、市民公開講座等を協力・実施している。 2 広島市在宅医療・介護連携相談支援窓口運営事業 平成 28 年度より、広島市委託事業として上記事業を受託し、平成 29 年 1 月より「安芸地区在宅医療・介護連携支援センター」を開設した。在宅医療・介護連携支援センターは、医療と介護の連携に係る業務を担う機関として、地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付を行っている。また、必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、患者・利用者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行なう。 令和元年 9 月より、主治医・副主治医制を導入した。 趣旨・概要については下記のとおり。 【趣旨】 在宅医療の場に於いては、自宅での療養が理想となっているが、夜間や休日等主治医が対応できない場合に、家族が救急車を要請し、本来希望されない延命・救命処置が施される事例が発生している。また、医師は一人で診療所を運営している事が多く、24 時間対応が大きな負担となり、在宅医療に二の足を踏んでいる現状も報告されている。そこで、当医師会会員同士の在宅医療代診システムの構築を行い、これらの問題に対応することとした。在宅医療の担い手であるかかりつけ医を支援するため、かかりつけ医や勤務医等の相互連携や協力体制を構築する。 今後、増加する地域の在宅医療のニーズに、安芸地区医師会がストレスなく応えるためのシステムである。在宅主治医の助け合いの精神のもとに成り立つ仕組みであり、会員の皆様方のご協力をお願い申し上げたい。 尚、このシステム構築は、安芸地区医師会における将来の在宅療養ネットワークのルールとして、寄与するものと考えられる。 システム開始後には、急変時の対応の不備など様々な問題点が表出されることが考えられるが、事後検討をしっかりと行い適宜マニュアル変更を図っていき、患者や家族、医療従事者にとってより良いシステムになる様努めていく。また、このシステムが十分に活用されることにより、安芸地区の在宅医療、訪問看護のレベルアップと、事前方針決定や事前指示の推進による ACP の醸成などにもつながると考えられる。 【概要】 主治医が対応出来ない（出来そうにない）場合に、バイタルリンク（TEIJIN）の連絡帳機能を活用し、患者（家族）の情報（死亡診断書作成に必要な情報、患者・家族との意思形成、看護サマリー、同意書など）を登録しておき、副主治医が情報を共有・活用することで、患者の希望に沿った質の高い在宅療養を実践する。また、緊急入院が必要な場合には在宅バックアップとして病院地域連携室の協力を得られるようにする。主治医の不在時に、副主治医と訪問看護 St が心理的抵抗なく、患者と家族の今までの診療の流れと信頼関係を損なうことなく緊急時対応に当たることが可能となるシステムである。 安芸地区医師会内を 3 地域（仮）に分けて、地域ごとに主治医・副主治医グループを作って運用する。副主治医への連絡方法は訪問看護師または介護施設職員などから電話で行う仕組みとなっている。 3 広島市地域産業保健センターの相談窓口業務の開催 日時：毎月第 4 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分

【一般社団法人 安佐医師会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん ○ 特定健診（安佐南区・安佐北区集団健診） 72 回（安佐南区 31 回・安佐北区 41 回） 5 大がん検診の同時実施、日曜健診の実施 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・可部二水会（一部 web 講習会） 令和 5 年 11 月 8 日 19:00～20:00 「乳癌の早期発見と安全な治療のために～10 人に 1 人が 80 歳を超える高齢化社会での挑戦～」 循環器疾患 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・脳卒中連携セミナー（Web 講習会） 令和 5 年 4 月 26 日 19:30～21:10 「CKD の脳卒中と心房細動」 ・安佐医師会内科会 令和 5 年 5 月 15 日 19:00～21:00 「心不全の急性期・慢性期治療」 ・安佐学術講演会（一部 web 講習会） 令和 5 年 6 月 21 日 19:00～20:10 「循環器が診る CKD 診療～心不全と貧血の観点から～」

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	糖尿病	○ 安佐地区糖尿病地域連携バスの活用 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・ 安佐学術講演会(Web 講習会) 令和5年4月26日 19:00～20:05 「糖尿病薬物療法 2023ー新規治療薬イメグリミンを中心にー」 ・ 安佐学術講演会(一部 web 講習会) 令和5年7月19日 19:00～20:00 「2型糖尿病の病態と治療に関するトピックス」
	COPD	○ 医師を対象とした研修会の開催
基本方針②	次世代	○ 乳幼児健診の実施 安佐南保健センター、安佐北保健センター、高陽出張所での集団健診及び、医療機関での個別健診 ○ 小児が罹る感染症の予防接種の実施 ○ 妊婦健診の実施 ○ 常設型オープンスペース育児講座への医師派遣 安佐南保健センター、安佐北保健センターでの育児相談、ミニ講演の開催 ○ 子どもの病気に関する講演会への医師派遣 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・ 安佐小児臨床懇話会 令和5年7月19日 19:00～20:00 「最近の抗てんかん薬の使い方とブコラムの使用について」 ・ 安佐学校保健部会研修会 令和6年3月3日 9:30～11:00 (予定) 「学校保健の新たな対応ーその31ー」
	働く世代	○ 特定健診 (安佐南区・安佐北区集団健診) 5大がん検診の同時実施、日曜健診の実施 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・ 安佐脂質研究会(一部 web 講習会) 令和5年12月22日 19:00～20:20 (予定) 「動脈硬化性疾患の発症予防を目指した脂質異常症治療の最新の動向」
	高齢世代	○ 特定健診 (安佐南区・安佐北区集団健診) 5大がん検診の同時実施、日曜健診の実施 ○ 高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌予防接種の実施 ○ 医師を対象とした研修会の開催 ・ 認知症ハート・フォーラム(web 講習会) 令和5年6月22日 19:30～21:00 「てんかんと認知症ー最新の臨床知見ー」 ・ 認知症ハート・フォーラム(web 講習会) 令和5年10月12日 19:30～21:00 「認知症診療・介護で直面する問題を考えるー自動車運転、成年後見制度、行動・心理症状 BPSD を中心にー」
基本方針③		○ 広島市域の広島市医師会・安芸地区医師会・安佐医師会の三医師会合同にて、広島市の主要事業に関する要望書を提出 ＜令和6年度主要事業に関する要望項目＞ 令和5年9月6日 提出 1. 災害医療救護体制の構築 2. 広島市救急医療体制の維持への支援 3. 子どもの健全な育ちを保障するための医療制度について 4. 医師会立看護学校への支援 5. 新医師会館整備についての協議

【一般社団法人 広島市医師会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ がん検診の実施および受診勧奨 ○ 各種がんの診断、治療 ○ 禁煙治療の実施 ○ 子宮頸がんワクチンの接種 ○ 広報活動の実施および協力（広島市医師会のホームページでの広報、会員への定例発送物への同封）
	循環器疾患	○ 循環器疾患の診断、治療 ○ メタボリック症候群の診断、治療 ○ 健康診断の実施 ○ 講演会等を開催するなど、広報活動の実施および協力（広島市医師会のホームページでの広報） ・ 心臓検診判定小委員会は今年度内に開催予定である。 ・ 広島市教育委員会が年度内に開催する心臓検診検討委員会に、本会役員等が出席予定である。
	糖尿病	○ 糖尿病およびその合併症の診断、治療 ○ 糖尿病性腎症重症化予防事業への協力 ○ 糖尿病教室の開催 ○ 講演会等を開催するなど、広報活動の実施および協力（広島市医師会のホームページでの広報） ○ 第1回糖尿病重症化予防対策検討委員会 日時：令和5年9月27日（水）
	COPD	○ COPDの診断、治療 ○ 広報活動の実施および協力（広島市医師会のホームページでの広報） ○ 禁煙の推進および治療の実施 ○ 禁煙の指導
基本方針②	次世代	○ 乳幼児健診、学童検診の実施 ○ 乳幼児への各種ワクチン接種 ○ 学校教職員に対する健康指導 ○ 青少年に対する禁煙教育、性教育の実施 ○ 学童検診の事後処置および精度管理の検討会開催 ○ 学校医へ向けての研修会開催 ・ 令和5年2月18日に開催した「不登校に係る対応研修会」を今年度の学校医研修会として置き換えることとした。 ○ 発達障害児・者への医療介助支援（サポートブックの活用） ○ 予防接種講習会の開催 日時：令和5年7月19日（水） 演題Ⅰ：「令和5年度の予防接種制度等について」 講師：広島市健康福祉局 保健部 健康推進課 保健予防担当課長 埴 恭雄 演題Ⅱ：「県内パンデミックの振り返りと今後」 講師：広島県感染症・疾病管理センター長 桑原 正雄 ○ 学校医部研修会の開催 日時：令和5年12月20日（水） ミニレクチャー：「HPVワクチンについて」 講師：こばたけ小児科皮膚科医院/広島市医師会 常任理事 小畠 牧人 演題：食物アレルギーに関して学校で知っておいてほしいこと 講師：広島赤十字・原爆病院 小児科副部長 村上 洋子
	働く世代	○ 検診（特定健診を含む）への受診勧奨および検診の実施年4回、当会の会員宛て発送物に同封 ○ 食事療法、運動療法の指導 ○ 各種疾患に対する治療および指導 ○ 産業医からの過重労働防止の提言やメンタルヘルス向上への取組 ○ 新型コロナワクチン接種

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	高齢世代	○ 往診、訪問診療の実施 ○ 食事療法、運動療法の指導 ○ 介護予防・日常生活支援総合事業への参加の勧奨 ○ 介護認定審査会への委員派遣 ○ 各種介護事業の実施 ○ 健康づくりに関する講演会等への講師派遣 ○ 高齢者インフルエンザ、肺炎球菌予防接種、新型コロナワクチン接種 ○ 地域ケアマネジメント会議への派遣
基本方針③		○ 地域包括ケアシステム構築へ向けてかかりつけ医の育成と多職種の連携を進めていくべき研修会等の開催 ○ 健診受診率向上のための取組 ○ 研修会・講演会等の開催 ○ 病診連携・診診連携の推進 ○ 救急体制の充実・安定稼働 ・広島地区病院群輪番制病院運営協議会・連絡会議合同会 日時：令和5年12月22日(金) ・令和6年1月30日に救急医療体制あり方検討委員会の開催を予定している。 ○ 市域医師会災害医療救護計画に基づき、EMIS活用等の訓練の実践 ・衛星携帯電話及びMCA無線通信伝達訓練 日時：令和5年11月28日(火) ○ こども医療費助成制度の見直し要望 ○ 小児在宅医療の充実 ○ 子育て世代包括支援センターの体制整備 ○ 看護師養成所（看護学校）の将来構想の検討 ○ 在宅医療を担う医療人の育成

【一般社団法人 広島県歯科衛生士会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	循環器疾患	○ 歯科衛生士を対象とした研修会の開催 日時：令和5年12月17日(日) 演題：歯科治療における心疾患患者さんへの関わり方 講師：岡山大学病院 循環器内科 中山 理恵 助教（特任）
基本方針②	次世代	○ 「いい歯の日キャンペーン」事業の実施 ・保護者 262 名、子供 374 名 ・こども園、幼稚園、子育て支援センターにて、乳幼児や保護者に対し歯科保健に関する重要性を啓発 ○ 広島市母子保健事業への協力 ○ 小学校でのブラッシング指導 ○ 「第38回歯とおくちの健康展」へ参加 ・保護者 176 名、子供 200 名へブラッシング指導
	働く世代	○ 意識啓発事業の実施 ・歯ブラシと歯磨剤の選び方のリーフレットを作成し 3000 部配布 ○ 歯科衛生士を対象とした研修会の開催 日時：令和5年5月14日(日) 演題：歯周病を治す歯周基本治療～症例から学ぶブラッシング指導～ 講師：池田歯科クリニック 佐藤 昌美 先生（歯科衛生士）

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	高齢世代	○ 令和4年度取組の継続と訪問歯科衛生士の実態調査結果の検討 ○ 訪問歯科衛生士の人材育成事業の実施 ○ 「高齢者における歯の健康づくり普及啓発」事業の実施 ・老人クラブやサロン等で口腔健康管理に関する知識の普及啓発 ○ 広島市アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業の実施 ○ 通いの場等への定期的な講師派遣 ○ 歯科衛生士を対象とした研修会の開催 日時：令和6年1月28日 内容：これからの摂食嚥下リハビリテーション 講師：東京医科歯科大学 戸原 玄 先生（歯科医師）
	基本方針③	○ 歯科衛生士の人材育成・確保のための研修会の開催や無料職業相談所「DHバンク」の運営 ○ 広島市アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業への歯科衛生士の派遣

【公益社団法人広島県栄養士会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 県民対象 ・健康教室、栄養食事指導の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・エコクッキング講習会の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・食生活相談（支部事業） ・市町健康まつり等での栄養相談 ○ 管理栄養士・栄養士及び県民対象 「食と健康のセミナー（オンデマンドセミナー）」開催
	循環器疾患	○ 県民対象 ・健康教室、栄養食事指導の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・エコクッキング講習会の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・食生活相談（支部事業） ・市町健康まつり等での栄養相談 ○ 管理栄養士・栄養士及び県民対象 「食と健康のセミナー（オンデマンドセミナー）」開催
	糖尿病	○ 県民対象 ・健康教室、栄養食事指導の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・エコクッキング講習会の開催（栄養ケア・ステーション受託事業） ・食生活相談（支部事業） ・市町健康まつり等での栄養相談 ○ 管理栄養士・栄養士及び県民対象 「食と健康のセミナー（オンデマンドセミナー）」開催 ○ 管理栄養士・栄養士対象 「生涯教育研修会、医療事業部研修会」「在宅栄養ケア研修会」開催 内容：糖尿病の診断、予防、治療について ：糖尿病のある人への治療サポートで管理栄養士に求めるもの ：ひろしま糖尿病栄養食事サポーター派遣事業について他
	高齢世代	○ 県民対象 ・「栄養の日」事業の開催

【公益社団法人 広島県看護協会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 看護職を対象としたがん看護に関する研修会の実施 ・緩和ケア ・がん化学療法を受ける患者の看護ケア ○ がん検診の啓発 ・市内5支部で開催の「まちの保健室」において乳がん自己検診等について啓発用リーフレット等を配付、説明。
	循環器疾患	○ 看護職を対象とした循環器疾患に関する研修会の実施 ・心電図の基礎知識 ・心不全患者の理解と看護ケア ・慢性心不全患者の理解と看護ケア ○ 市内5支部で開催の「まちの保健室」において健康チェック（血圧測定等）、生活習慣（高血圧症、脂質異常等）に関する指導を実施
	糖尿病	○ 「世界糖尿病デー」イベント参加 ・糖尿病認定看護師による血糖測定 ○ 看護職を対象とした糖尿病に関する研修会の実施 ・糖尿病看護の基礎知識 ・糖尿病重症化予防（フットケア） ○ 市内5支部で開催の「まちの保健室」において健康チェック、生活習慣に関する指導を実施
	COPD	○ 看護職を対象とした呼吸器疾患に関する研修会の実施 ・呼吸器疾患患者のアセスメントケア ・禁煙支援ナース研修 ○ 市内5支部で開催の「まちの保健室」において健康チェック、生活習慣に関する指導を実施
基本方針②	次世代	○ 小児救急医療電話相談（委託） 平日19:00～22:00 ○ 「子育て応援団すこやか2023」にて育児相談 ○ 看護の出前授業実施 ・県内の小学校、中学校、高等学校で、助産師などによる命の大切さ、心と体の話等の授業を担当（申込14校で10校実施済） ○ 看護職を対象としたこどもの健康に関する研修会の実施 ・こどものフィジカルアセスメント ・未来のこどもと家族のためのプレコンセプションケア
	働く世代	○ 市内5支部で毎月1～2回「まちの保健室」を開催 ○ 看護職を対象に、毎月2回「産業カウンセラーによる相談」を開催
	高齢世代	○ 看護職を対象とした高齢者看護に関する研修会の実施 ・高齢者看護の基礎知識 ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ・病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 ○ 市内5支部で毎月1～2回「まちの保健室」を開催
基本方針③		○ 市内5支部で「まちの保健室」を開催 ○ 地域の医療機関・福祉施設等における感染症対応力向上のため、感染管理認定看護師を派遣し、施設訪問指導や地域での研修会を開催（施設訪問8施設、集合研修6会場） ○ 四師会協議会健康寿命延伸に関する「県民フォーラム」の開催協力

【広島市域薬剤師会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん ○ 健康サポート施設としての薬局の活用を推進する ○ ゲートキーパーの養成 ○ がんに関する知識の普及啓発 ○ がんの早期発見、重症化予防 ○ 元気じゃけんひろしま21の広報 ○ 広島県がんサポート薬剤師の積極的な活動 ○ 薬局での禁煙指導 ○ 学校薬剤師による児童、生徒への禁煙・禁酒指導 ○ 学校薬剤師による児童・生徒へのがん教育推進 ○ 薬局での健康手帳の配布 ○ 臨床検査値の活用 ○ 化学療法における「治療日誌」の活用 ○ 緩和薬物療法認定薬剤師の活用 ○ 各区民まつり等での啓発用リーフレットの配布・相談 ○ やく薬フェスタにて乳がん、子宮頸がん等の健診向上の啓発活動
	循環器疾患 ○ 薬局での禁煙指導 ○ 健康サポート施設としての薬局の活用を推進する ○ 循環器疾患に関する知識の普及啓発 ○ 高血圧、脂質異常の早期発見、重症化予防 ○ 元気じゃけんひろしま21の広報 ○ 薬局での禁煙指導 ○ 学校薬剤師による児童、生徒への禁煙・禁酒指導 ○ 薬局での健康手帳・血圧手帳の配布 ○ 適正な食事、生活に関するアドバイス ○ 家庭での血圧測定の意義について説明 ○ 臨床検査値の活用 ○ 各区民まつり等での啓発用リーフレットの配布・相談 ○ やく薬フェスタ、測定ブースにて血圧測定会を行い、高血圧疾患の重要性の啓発を行う ○ ハイリスクアプローチとして、より適切な疾病管理を目的とし、薬局薬剤師と連携した服薬管理のモニタリングや指導を行う
	糖尿病 ○ 薬局での禁煙指導 ○ 健康サポート施設としての薬局の活用を推進する ○ HbA1c 測定により糖尿病疾患の重要性を啓発と対象者には受診勧奨を行う。 ○ 常時HHbA1c 測定可能薬局の設置を進める。 ○ 糖尿病に関する知識の普及啓発 ○ 糖尿病の早期発見、重症化予防 ○ 薬局での健康手帳の配布 ○ 適正な食事、生活に関するアドバイス ○ 低タンパク食についての知識の普及 ○ 臨床検査値の活用 ○ ハイリスクアプローチより適切な疾病管理を目的とし、薬局薬剤師と連携した服薬管理のモニタリングや指導を実施。 ○ イベントなどで薬剤師会による検体測定室でのHbA1c測定により糖尿病疾患の重要性を啓発と対象者には受診勧奨を行う。 (開催日 令和5年11月5日 第6回薬と健康のやく薬フェスタ場所 広島駅南口地下ひろば) ○ 各区民まつり等での啓発用リーフレットの配布、相談

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	COPD	○ イベントなどで薬剤師会による検体測定室でのHbA1c測定により糖尿病疾患の重要性を啓発と対象者には受診勧奨を行う (開催日 令和5年11月5日 第6回薬と健康のやく薬フェスタ場所 広島駅南口地下ひろば) ○ 各区民まつり等での啓発用リーフレットの配布、相談 ○ 薬局での禁煙指導 ○ 健康サポート施設としての薬局の活用を推進する ○ COPDに関する知識の普及 ○ COPDの早期発見、重症化予防 ○ 元気じゃけんひろしま21の広報 ○ 薬局での健康手帳の配布 ○ 学校薬剤師による児童、生徒への禁煙・禁酒指導 ○ 禁煙サポート薬剤師の活用 ○ 臨床検査値の活用 ○ お薬手帳の推進 (HMネット推進事業を含む) ○ 薬局での禁煙指導
	次世代	○ 学校薬剤師による児童、生徒、保護者への健康教室 ○ 健康サポート施設としての薬局の活用を推進する ○ 適正体重に関する知識の普及・啓発 ○ 適正な食事に関する知識の普及・アドバイス (高血圧・糖尿病・腎臓病との関係) ○ 生活習慣病と運動についての知識の普及 ○ 規則正しい生活を過ごす為のアドバイスと適正な服薬指導 ○ こころの健康管理に関する相談窓口の普及 ○ 禁煙指導・キャンペーン (薬剤師禁煙支援アドバイザーの活用)
基本方針②	働く世代	○ 節酒指導と適量指導 ○ 適正な歯科用製品の使用方法や選択についてのアドバイス ○ 歯肉に対する薬の影響についての注意 ○ 元気じゃけんひろしま21の広報 ○ 薬と食物の相互作用についての知識の普及 ○ フットケアについての知識の普及 ○ 広島県がんサポート薬剤師の積極的な活動と育成 ○ スポーツファーマシストの活用 ○ 薬物乱用防止活動 (令和5年7月22日 場所 広島パルコ前周辺・八丁堀福屋北東角) 及び、マツダスタジアムのアストロビジョンに、開幕期間中「ダメ。ゼッタイ。」・「NO DRUG、KNOW DRUG」をキャッチフレーズに、薬物乱用防止に関する啓発用のCMを放映 ○ 各区民まつり等での啓発用リーフレットの配布・相談
	高齢世代	○ お薬手帳の推進 (HMネット推進事業を含む) ○ 適正な健康管理による健康寿命についての知識・普及 ○ 介護予防教室等での「高齢者と薬」についての講演 ○ 脳血管疾患や認知症の初期症状、発見についてのアドバイス ○ 介護予防事業のリーフレットの配布 ○ 適正な食事に関する知識の普及 ○ 適正な口腔ケア、嚥下に関する知識の普及 ○ 適正な運動に関する知識の普及 ○ 歯科用製品の使用方法や選択についてのアドバイス ○ 元気じゃけんひろしま21の広報 ○ 薬と食物の相互作用についての知識の普及 ○ フットケアについての知識の普及 ○ 薬剤師禁煙支援アドバイザーの活用 ○ 広島県がんサポート薬剤師の積極的な活動 ○ 必要な衛生材料、福祉用具などについてのアドバイス ○ 老人クラブ、介護施設などへの薬の適正使用等講演

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	○ 老人クラブ、介護施設などへの薬の適正使用等講演講師派遣 ○ 「2023薬局へ行こう！」プロジェクト 実施期間：4月1日～30日 参加薬局 15 薬局 健康教室・残薬調査・特定健診啓発等実施 ○ 実施期間：10月1日～31日 参加薬局 20 薬局 健康教室・残薬調査・特定健診啓発等実施 ○ ポピュレーションアプローチ 通いの場への関与、参加者の服薬に関する健康相談等を実施 ○ 薬物乱用防止活動 ○ 学校薬剤師による小・中・高校での薬物乱用防止教育（薬の正しい使い方・飲酒・受動喫煙防止・薬物乱用防止） ○ 老人クラブ、介護施設などへの薬の適正使用等講演講師派遣 ○ 健康サポート薬局において、健康教室の開催を行う ○ やく薬フェスタにて薬物乱用防止啓発活動を行う

【広島市歯科衛生連絡協議会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん
	○ がんに関連する細菌(ピロリ菌)は口腔内にいることから、口腔ケアの重要性と、唾液中の酵素が食物に含まれる発がん性を減少させることなどを啓発するため、冊子の配布、講演会の開催。 ○ がん患者に対しては、抗がん剤治療や放射線治療時に起こる口腔粘膜炎に対しての口腔ケアを、病院と連携して行う。
	循環器疾患
	○ 歯周病の刺激により、血管が詰まりやすくなり、心疾患のリスクを高めることを啓発するため、冊子の配布、講演会の開催。 ○ 循環器疾患と歯周病の関連についてのアニメーションを用いて普及啓発する。
基本方針②	糖尿病
	○ 歯周病が悪化すると、糖尿病も悪化することから、歯周病の治療の重要性を啓発するため、冊子の配布、講演会の開催。 ○ 糖尿病連携手帳を活用し、多職種連携を推進する。 ○ 糖尿病と歯周病の関連についてアニメーションを用いて普及啓発する。 ○ 軽度糖尿病や糖尿病予備軍の市民に対し、多職種連携を通じて重症化予防に取り組む。
基本方針③	COPD
	○ 喫煙により口腔内には、歯の着色や歯肉の変色がおこり、歯科医師は喫煙者を容易に判別出来ることから、歯科医院での禁煙指導の推進。 ○ 喫煙と受動喫煙の危険を示した冊子の配布。
基本方針④	次世代
	○ 1歳6か月児健診・フッ素塗布 ○ 3歳児健診 ○ 2歳児フッ素塗布 ○ 妊産婦個別指導追跡調査（母子ぐるみ指導） ○ 広島県産婦人科医会、広島臨床産婦人科医会との連携による妊婦の歯周病予防事業の推進 ○ 産後の産婦における口腔衛生状態の向上に向けた啓発活動 ○ 学校歯科医の研修・支援 ○ 春期定期口腔検診 ○ 秋期臨時口腔検診 ○ 小学校就学時口腔検診 ○ 広島市立保育所・園口腔健診 ○ 「よい歯の集い」の開催 ○ 口腔保健啓発資料（学齢期向け）の配布 ○ 広島市学校保健会、広島市食育推進会議、広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議への参画 ○ 児童虐待等の防止への貢献

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	働く世代	○ 節目年齢歯科健診のポスターをイベント等に掲示し、新たに55歳の歯科健診も行えるようになったこと、並びに節目歯科健診のワンコイン化のさらなる普及啓発に努める。 ○ 歯科医院で行う節目歯科健診及び妊婦歯科健診の受診者にデンタルフロスまたは歯間ブラシの指導 ○ 6月の歯と口の健康週間に、おくちの健康を啓発する「おくちの健康展」の開催 ○ 職場での歯科健診及びおくちの健康に関する講演会の実施
	高齢世代	○ 介護予防事業に関するリーフレットを節目健診の案内（例えば60、70歳）と共に送付 ○ 介護予防教室や介護予防拠点、多職種連携研修会等への講師派遣 ○ 介護予防教室や、介護予防拠点等での口腔機能低下（オーラルフレイル）予防の重要性の啓発 ○ 多職種連携会議や医療介護連携等多職種協働への積極的な参画 ○ 高齢世代への口腔ケアに対応できる人材を育成し、増加する高齢世代に対処できる体制づくりを検討 ○ 「8020」いい歯の表彰式の開催
基本方針③		○ 歯科医療施設敷地内の禁煙化の推進

職域保健分野

【独立行政法人労働者健康福祉機構 広島産業保健総合支援センター】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん ○ 産業保健関係者に対する専門的研修の実施 生活習慣病が関与するがんの予防や、産業保健分野として特に、職業生活に関連したがんの発症予防のための研修会、また疾病や障害を抱える労働者の治療と仕事の両立支援をテーマとした研修を、産業医、産業保健スタッフ、人事労務担当者等を対象に実施した。 令和5年4月1日より労働安全衛生規則等の一部改正が行われ、化学物質を製造又は取扱う業務の作業環境管理や作業管理が適正に実施する必要があることから、発がん性の高い化学物質に対する対応方法や意識啓発を図るための研修会や実地相談を実施している。 ○ 産業保健関係者からの専門的相談の実施 豊富な経験や知識を有した専門スタッフ「産業保健相談員、促進員等」が、産業保健に関する相談について、面談や電話、メール等あらゆる手法により対応している。 職業がんの発生予防のための職場の作業環境改善について、事業場実地訪問のうえ助言、支援を行った。 ○ 情報提供・広報啓発の実施 働く世代から生活習慣を見直し、がんの発生を予防するため、各事業団体と共催のうえ、事業者を対象とした啓発セミナー等を実施した。 また、治療と仕事の両立の取組みを推進するためにも、早期発見、早期予防の重要性を周知し、がん検診の必要性を発信のうえ受診率向上を図った。 ○ 治療と仕事の両立支援の実施 治療を必要とする者が身近に相談できる体制を図るため、県内のがん診療連携拠点病院を中心に、出張相談窓口（17 医療機関、18 窓口）を開設しており、定期的に出張相談窓口連携会議を開催して情報共有を図っている。 がんをはじめとする疾病を抱える労働者が、業務によってがん等を増悪させることなく、また、治療に対する配慮が行われるよう、職場の環境づくりや、企業と医療機関の連携を図る等、治療と仕事の両立支援体制の構築を図った。 ○ 小規模事業場（労働者数 50 人未満事業場）への支援の実施 小規模事業場を対象とした産業保健活動支援を図る、当センター地域窓口（地域産業保健センター）において、健康診断の結果に基づき、医師等による健康相談・保健指導を実施し、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、重症化を予防するよう働きかけた。
	循環器疾患 ○ 産業保健関係者に対する専門的研修の実施 「広島県循環器病対策推進計画（令和4年度から2年間）に基づき、国の「循環器病対策推進基本計画」を踏まえ、「広島県循環器病（脳卒中・心血管疾患）に係る治療と仕事の両立支援セミナー」を広島県と共催により開催した。 長時間労働や過重労働による、脳・心臓疾患をはじめとする循環器疾患の発生予防に向け、事業者団体と共催により事業者や労働者向け啓発セミナーを実施した。 ○ 産業保健関係者からの専門的相談の実施 豊富な経験や知識を有した専門スタッフ「産業保健相談員、促進員等」が、産業保健に関する相談について、面談や電話、メール等あらゆる手法により対応している。 ○ 情報提供・広報啓発の実施 事業者団体との共催により事業者や労働者向け啓発セミナーを実施し、幅広く情報提供を実施している。 ○ 治療と仕事の両立支援の実施 治療を必要とする方が身近に相談できる体制を図るため、県内のがん診療連携拠点病院を中心に、出張相談窓口（県内 16 ヶ所）を開設している。 脳卒中・心血管疾患を抱える労働者が、業務によって疾病を増悪させることなく、また、治療に対する配慮が行われるよう、職場の環境づくりや、企業と医療機関の連携を図り、相談体制の構築を図った。 ○ 小規模事業場（労働者数 50 人未満事業場）への支援の実施 小規模事業場への産業保健活動支援を目的とした、当センター地域窓口（地域産業保健センター）において、健康診断の結果に基づき、医師等による健康相談・保健指導を実施し、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、重症化を予防するよう勧奨した。

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	糖尿病	○ 産業保健関係者に対する専門的研修の実施 若い働き世代から食生活への関心やバランスのとれた食生活を意識した生活を送ることができるよう、保健指導を担う専門職や、人事労務担当者等を対象に、専門的研修を実施した。 ○ 産業保健関係者からの専門的相談の実施 豊富な経験や知識を有した専門スタッフ「産業保健相談員、促進員等」が、既に糖尿病を患っている労働者が重症化しないよう、面談や電話、メール等あらゆる手法により健康相談等を実施のうえ支援している。 ○ 情報提供・広報啓発の実施 事業者団体との共催により事業者や労働者向け啓発セミナーを実施し、幅広く情報提供を実施している。 ○ 小規模事業場（労働者数 50 人未満事業場）への支援の実施 小規模事業場への産業保健活動支援を目的とした、当センター地域窓口（地域産業保健センター）において、健康診断の結果に基づき、医師等による健康相談・保健指導を実施し、糖尿病の予防や生活改善等について働きかけた。
	COPD	○ 産業保健専門スタッフの講師派遣・斡旋の実施 当センター専門スタッフ「産業保健相談員」を、事業場や外部機関主催研修等へ講師斡旋し、喫煙による健康障害等について講演を実施している。 ○ 産業保健関係者からの専門的相談の実施 豊富な経験や知識を有した専門スタッフ「産業保健相談員」が、喫煙による健康障害等について、面談や電話、メール等あらゆる手法により健康相談等を実施のうえ支援している。必要に応じて、事業場実地訪問による相談支援を実施している。 ○ 情報提供・広報啓発の実施 事業者団体との共催により事業者や労働者向け啓発セミナーを実施し、幅広く情報提供を実施している。 世界禁煙デーに合わせ、ホームページ等を利用し広く啓発活動を実施している。 ○ 小規模事業場（労働者数 50 人未満事業場）への支援の実施 小規模事業場への産業保健活動支援を目的とした、当センター地域窓口（地域産業保健センター）において、健康診断の結果に基づき、医師等による健康相談・保健指導を実施し、喫煙による健康障害等について働きかけた。

項目	令和5年度取組状況
基本方針② 働く世代	○ 産業保健関係者に対する専門的研修の実施 事業場が労働者の健康の保持増進を図り、運動指導、栄養指導、メンタルヘルスケア、保健指導等が適正に実施されるよう、産業医・産業保健スタッフ等の資質向上を目的とした研修や、事業者、人事・労務管理担当者を対象とした研修、意識啓発を目的としたセミナーを企画・開催し、職域における健康づくりの普及促進に努めた。 転倒や腰痛等の行動災害の減少により労働者の健康保持増進を図るため、労働者の健康保持増進の指針に基づく取組みとして、運動指導等を通じた労働者の健康保持増進のための個別訪問支援事業を今年度から開始している。各事業場へ訪問のうえ、体力測定、支援メニュー作成、結果評価、継続サポートを実施する。 運動指導担当相談員（健康運動指導士、理学療法士等）が研修「職場の腰痛対策・転倒予防対策」を県下各地域で開催した。 生涯にわたる女性の健康を包括的に支援することを通じ、不妊予防に向けた取り組みを推進する、国が取りまとめた「不妊予防支援パッケージ」に取り組むため、産婦人科医を招聘し、研修「働く女性特有の健康課題と仕事との両立」を開催し、運動指導の側面から運動指導担当産業保健相談員の講演も併せて実施した。 労災認定の精神障害者、脳心臓疾患も増加傾向であり、休職、復職を繰り返す労働者に対する事業所への相談支援とともに、予防の取組み、早期対応、早期支援のためのゲートキーパー養成を行い、メンタルヘルスファーストエイドを活用した取組みなど、メンタルヘルスに対する研修の機会を増やした。 ○ 産業保健関係者からの専門的相談の実施 豊富な経験や知識を有した専門スタッフ「産業保健相談員、促進員等」が、産業保健に関する相談について、面談や電話、メール等あらゆる手法により対応している。 ○ 情報提供・広報啓発の実施 事業者団体との共催により事業者や労働者向け啓発セミナーを実施し、幅広く情報提供を実施している。 ○ 治療と仕事の両立支援の実施 病気を抱えながら就労している方が、治療を理由に退職することなく、また就労を理由に治療が中断することがないように、普及啓発に取り組むとともに、医療機関と事業場が連携できるよう相談体制を構築した。 また、両立支援コーディネーター基礎研修受講を勧め、医療機関だけでなく、事業場において両立支援コーディネーターの配置の拡充に努めた。また、受講修了者を対象にした応用研修となる事例検討会やコーディネーターが気軽に集える場（交流会）を開催し、県内の連携体制の構築に努めた。 多様性が認められる職場になり、治療と仕事の両立支援が進むよう、それぞれの立場を理解し合いながら、身近な問題として考えることができるようより両立支援事例検討会を定期的に行った。今年度は、循環器対策推進計画のに基づき、脳血管疾患や、難病等をテーマに、医療における専門職や事業所の人事労務担当者、支援者等、多職種で連携方法を学んだ。 ○ 小規模事業場（労働者数 50 人未満事業場）への支援の実施 小規模事業場への産業保健活動支援を目的とした、当センター地域窓口（地域産業保健センター）において、健康診断の結果に基づき、医師等による健康相談・保健指導を実施し、喫煙による健康障害等について働きかけた。
高齢世代	○ 産業保健関係者に対する専門的研修の実施 エイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）の普及に努め、ガイドラインに沿って、運動指導担当産業保健相談員による「高齢労働者の転倒災害防止・予防セミナー」を労働局との共催により開催した。 ○ 高齢労働者の転倒予防対策のための事業所への訪問支援 健康経営の取組みを応援し、転倒災害、腰痛災害ゼロを目指して、保健師、健康運動指導士、理学療法士等が事業場を訪問し、体力測定を実施し、運動指導を実施するとともに、数カ月後の再測定を行い、評価するとともに、自主的継続実施に向けたアドバイスを行い、転倒・腰痛災害防止へ向けて取組みを行っている。

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	新型コロナウイルスによる職場環境や働き方も多様化しており、特に運動不足からくる生活習慣病予防やメンタルヘルス対策を強化していくために、事業場とも連携しながら社会環境整備の取り組みを行っている。 ギャンブル等依存症対策基本計画に基づき、今年度からギャンブル等依存症に係る研修「ギャンブル依存症対策研修会」、「労働者におけるアルコール依存症とギャンブル依存症の早期発見と早期治療」を開催した。 アルコール健康障害に関して気軽に相談できる「広島県アルコール健康障害サポート医」を養成するため、広島県との共催による「アルコール健康障害サポート医養成研修会」、「アルコール健康障害への早期介入」、を開催した。 自殺対策において人材育成は重要であり、自殺ハイリスク者が多く潜在する働き世代に関わる人事・労務管理者等を対象に、ゲートキーパー研修を広島県立総合精神保健福祉センターとの共催で全2回開催した。 地域や職域で、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者「心のサポーター」を養成するため、広島市、厚生労働省と共催のうえ、心のサポーター養成研修を開催した。

【広島商工会議所】

項目	令和5年度取組状況
基本方針② 働く世代	○ 会員事業所に対して、行政や関係機関が主催する健康経営に関するセミナーの周知を図った。

【広島中央労働基準監督署】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん ○ 化学物質（発がん性物質を含む）による健康障害防止対策の推進 ○ がんその他の重度の健康障害を発生させるおそれのある業務に従事した労働者に対して、離職後に無料で健康診断を受診できる健康管理手帳制度の周知 ○ 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」周知
	循環器疾患 ○ 過重労働による健康障害防止対策の推進 ○ 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」周知
	糖尿病 ○ 職場における特定健診・特定保健指導の普及のための指導 ○ 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」の周知
	COPD ○ 「職場における受動喫煙防止対策のためのガイドライン」の周知
基本方針②	働く世代 ○ 「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」の周知 ・事業場における健康診断、健康測定、健康指導の実施 ○ 過重労働による健康障害防止対策の推進 ○ ストレスチェック制度を含むメンタルヘルス対策の推進 ○ 有害な業務従事者への歯科健診受診を指導

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	高齢世代	○ 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知 ○ がんその他の重度の健康障害を発生させるおそれのある業務に従事した労働者に対して、離職後に無料で健康診断を実施する健康管理手帳制度の周知 ○ 「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」の周知 ・フレイルやロコモティブシンドロームの予防への取組み ・筋力や認知機能等の低下に伴う転倒等の労働災害を防止するため、身体機能セルフチェック、フレイルチェック、ロコモ度テスト等の健康測定の実施
基本方針③		○ 事業者が労働者に対して実施する健康診断結果の保険者への提供要請

医療保険者

【健康保険組合連合会 広島連合会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 「がん検診へ行こうよ」推進会議（広島県がん対策課）の会員として、傘下の健保組合に向け、年間を通じ、がん検診啓発活動を行う。 《内容》がん検診の推進と啓発活動 ・資料提供 ・HP への各種情報掲載 がん検診の普及啓発 ・ポスター掲示（当ビルエントランス他、会員組合への配布）
	糖尿病	○ 重症化予防指導の支援事業を実施 《事業名》重症化予防指導支援の共同事業（外部委託） 《目的》糖尿病性腎症重症化予防のプログラムを活用することで、保健指導の実施内容等の情報提供について、対象者を介して実施することが可能なことや、生活習慣改善目標を摺り合わせるなど、特定健診・特定保健指導の受診率の底上げに効果を期待するもの 《参加組合数》4 組合
基本方針②	次世代	○ 健康づくりウォーキング 《目的》自然豊かな地をウォーキングし、秋の訪れを身体で感じ自然に親しむ。また、家族やグループの交流を深めながら健康増進を目的にウォーキングを楽しむ。 《実施場所》呉市蒲刈町「県民の浜」 《実施日》令和5年10月21日（土） 《参加組合数》16 組合 ○ 軟式野球大会 《目的》会員組合の被保険者の健康増進を目的に軟式野球大会を実施 《実施場所》『中国電力南原グラウンド』 《実施日》令和5年8月26日（土）、9月2日（土） 《参加組合数》7 組合
	働く世代	○ 健康づくりウォーキング、軟式野球大会 次世代同様 ○ 特定保健指導 《事業名》特定保健指導等支援の共同事業（外部委託） 《対象者》・40歳～74歳の特定保健指導対象者 ・40歳未満のメタボ予備軍や通院・服薬中の者を対象とする保健指導 《参加組合数》15 組合
	高齢世代	○ 健康づくりウォーキング 次世代同様 ○ 前期高齢者訪問健康指導 《事業名》前期高齢者訪問健康指導支援の共同事業（外部委託） 《目的》高齢者医療制度によって、前期高齢者納付金等が課せられることになり、多くの健保組合がこれまでの拠出金制度に比べ、負担が増大している。このような状況の下、広島連合会は、会員組合が安定した事業運営が図られるよう、広島連合会の共同事業として、組合が納付金負担軽減化のため行う前期高齢者訪問健康指導に対して支援する。 《対象者》前期高齢者年齢（63～74歳）の被扶養者 《参加組合数》12 組合

【全国健康保険協会 広島支部】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 年度初めに対象事業所に対し、がん検診を含む生活習慣病予防健診を勧奨した。 ○ 健診受診率の低い事業所に対し、集団健診の案内を送付した。 ○ 協会けんぽ被保険者（35～74歳）に対し、広島県と協定を結び、がん検診の啓発と生活習慣病予防健診（事業者健診からのシフトを含む）の受診勧奨を行った。 ○ 協会けんぽ被扶養者（40～74歳）のデータを各市町へ提供し、各市町より住民健診（特定健診・がん検診）等の受診勧奨ハガキを送付した。
	循環器疾患	○ 健診：基本方針①がんと同様に実施した。 ○ 要医療者への受診勧奨：健診の結果、血圧・血糖・LDL コレステロールが要医療域にある未治療者に対し、健診機関による受診勧奨を実施した。健診結果の重度が高い者、健診機関からの受診勧奨後も未受診である者については、文書等による再勧奨を実施した。 ○ CKD リスク保有者への受診勧奨：健診の結果、eGFR15 以上 60 未満かつ尿たんぱく＋以上に該当する者を「CKD リスクあり」とし、文書等による受診勧奨を実施した。また、対象者の状態により、血圧・血糖等健診結果全体を踏まえた個別保健指導を実施した。
	糖尿病	○ 健診：基本方針①がんと同様に実施した。 ○ 要医療者への受診勧奨：基本方針①循環器疾患と同様に実施した。 ○ 治療中断者への受診勧奨：基本方針①循環器疾患と同様に実施した。
	COPD	○ 特定保健指導の際、禁煙者に対して禁煙外来の紹介や喫煙の害等の情報提供を行った。 ○ 健康宣言をしている事業所に対して、禁煙等についての健康講話を提供した。
基本方針②	働く世代	○ コラボヘルスの一環として、健康経営を普及するため、「ひろしま企業健康宣言」を推進し、令和5年11月時点で4,434社がエントリーしている。県内の被保険者10人以上の事業所約1万社に対し、健診結果や生活習慣、医療費情報を見える化した「ヘルスケア通信簿」を提供し、各事業所の健康課題の把握を通じて健康経営の浸透に努めた。被保険者10名未満の事業所に対しては、同業種の事業所を集計した「ヘルスケア通信簿（同業種集計版）」を提供し、健康課題を把握していただくとともに健康経営の推進を図った。 ○ 被扶養者に対しては、特定健診を受診しやすい環境づくりのため、無料健診会場の増加、がん検診との同時実施、骨密度測定・血管年齢等の無料オプション検査や、対象者には特定保健指導の案内を実施した。 また、「健康づくりの好循環イベント」と銘打ち、経年未受診者等にも受診を促し、受診者には健診当日の特定保健指導を実施する等健康づくりサイクル定着を図る取組を行った。 ○ 健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査を実施した。当該分析結果に基づき、メンタル系疾患の発生予防に向け、事業所へのアプローチとして、調査結果をまとめたわかりやすい冊子「データで見る健康経営の効果とメンタルヘルス対策」を送付し結果をフィードバックするとともに、ラインケアをテーマとしたメンタルヘルスセミナーを開催した。また、個人へのアプローチとして、睡眠で休養がとれていない方（問診票）に対して、睡眠を含む生活習慣の改善に向けた個別通知と睡眠改善セミナーを開催した。

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	○ 下記の他、多くの協議会等に参画 ・健康ひろしま 21 推進協議会 ・広島県医療審議会 ・広島県国民健康保険運営協議会 ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議 ・「がん検診へいこうよ」推進会議 ・広島県歯と口腔の健康づくり推進協議会 ・データを活用した働き盛り世代の生活習慣改善策に係る検討会 ・新たな財政支援体制制度検討委員会 ・広島県医療介護総合確保推進委員会 ・広島県医療費適正化計画検討委員会 ・広島県がん予防・検診推進会議 ・ひろしま食育・健康づくり実行委員会 ・広島県肝炎対策協議会 ・広島県依存症対策連絡協議会 ・職域における歯科保健推進会議 ・元気じゃけんひろしま 21 推進会議 ・広島圏域地域医療構想調整会議 ・保険者協議会 ※様々なセミナー、会合や会議で、積極的に意見発信を行い、「健康経営」と「健康づくりの好循環」の定着・拡大に向けてPRしている。

【広島県国民健康保険団体連合会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	○ 特定健診の受診率向上に向けた広報 特定健診の受診率向上を支援するため、9月に受診勧奨メッセージを付したエコバッグを作成・配付した。 また、保険者協議会と連携して受診勧奨ポスターを作成し、保険者及び健診実施機関や調剤薬局に配付するとともに、Web 広告を行うなど、県民の受診意識の醸成を図っている。 ○ 特定健診受診率向上対策事業 保険者が実施する特定健診の受診勧奨事業を支援するため、対象者情報を作成し提供している。 ○ 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業 保険者等がレセプト・健診情報等を活用した保健事業の実施計画を策定する際に、本会の保健事業支援・評価委員会により、企画・立案段階からの助言や課題の分析、評価などを行い、保健事業がPDCA サイクルに沿って効率的・効果的に展開されるための支援を行っている。 更に、令和5年度においては、第2期データヘルス計画の最終評価とそれを踏まえた令和6年度からの第3期データヘルス計画の策定に係る支援を行っている。 ○ 国保データベース（KDB）システムの活用・促進 本会が保有する「健診・保健指導」「医療」「介護」等の各種データを効果的に利活用することで、地域における生活習慣病の状況や健康課題等を明らかにするなど、保険者等がデータに基づいて実施する保健事業の支援を行っている。
循環器疾患	○ 循環器疾患と同様 ○ 糖尿病性腎症重症化予防事業 保険者が実施する糖尿病性腎症の重症化予防や人工透析への移行防止を図る事業を支援するため、対象者情報を作成し提供している。
糖尿病	
基本方針②	○ 基本方針①「循環器疾患」と同様 ○ 健康づくりポスターを活用した事業 若年時から健康に対する意識の啓発を図るため、小学校・中学校へ健康増進につながるポスターの募集を行うとともに、優秀作品を掲載したカレンダーを作成・配布し、広報等に活用することにより、被保険者の健康増進に対する意識の向上を図っている。
次世代	

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	働く世代	○ 基本方針①「循環器疾患」及び「糖尿病」と同様
	高齢世代	○ 基本方針①「循環器疾患」及び「糖尿病」と同様 ○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 国から示された「高齢者の特性を踏まえたガイドライン」に基づき、県及び広域連合と連携し、市町に対して高齢者の保健事業の企画立案や評価等に関する研修会の開催や保健事業支援・評価委員会による助言等の支援を行っている。
基本方針③		○ 在宅保健福祉活動者支援事業 広島県在宅保健福祉活動者の会会員及び在宅専門職（保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士等）の資質の向上と相互の連携を図り、地域住民の健康づくりを推進している。

健康づくり分野

【一般社団法人 広島県生活衛生同業組合連合会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	○ 各方面からのポスター等の掲示

【一般社団法人 広島県精神保健福祉協会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針②	次世代 働く世代 高齢世代 ○ 研修会の開催 ・ 地域精神保健研修会 【特別講演】「認知行動療法のエッセンス～支援者のセルフケアも含めて～」 【講師】神人 蘭 氏 (広島大学病院精神科診療講師, 厚生労働省認知行動療法研修事業スーパーバイザー) ・ 地域社会交流促進研修会 【講演】「精神障害をもつ人のリカバリー～リカバリーにむけて我々ができること～」 【講師】藤田 康孝 氏 (医療法人社団 更生会 草津病院 精神科副院長) ・ 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ 【講演】「発達や愛着の問題を抱える子どもの理解と支援～アセスメントと具体的支援のポイント～」 【講師】米澤 好史 氏 (和歌山大学教育学部心理学教室 教授) 【グループワーク】ファシリテーター：広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ運営委員

【一般社団法人 広島市食品衛生協会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	○ 当協会では、広島市の認定を受けて、食品衛生法に基づき、営業許可対象、届出対象施設に設置義務のある「食品衛生責任者」の養成講習会（以下、講習会。）を開催している。当該講習会の科目において、「公衆衛生学（0.5時間）」として、公衆衛生の目的、疾病（動物由来を含む感染症）の予防、公衆衛生行政、環境衛生の目的、生活環境の衛生、持続可能な社会に向けた取り組みの必要性、及び労働作業環境における健康管理（一般健康診断）等の概要について、専門職員（食品衛生監視員資格者）が講習を行った。主な内容として、「健康寿命を延ばすには・・・」「生活習慣病を予防するには・・・」として、減塩など食生活の改善、適度な運動、休養の必要性、適正体重の維持、喫煙の害及びそ族昆虫の防除等、また、感染症等の予防として、「衛生的な手洗い方法」について情報を提供した。新型コロナウイルス感染拡大防止にも留意し、eラーニングによる講習も含め12月まで、計20回実施し、1,441人が受講した。年度内、合計26回、約1,800人に実施の見込み。
基本方針②	○ 基本方針①の項に同じ ○ 当協会では、広島市から「生活衛生推進事業（市民ボランティア・食品衛生指導員、計101名、主に高齢者による活動）」の委託業務を実施しており、平成29年9月から「高齢者いきいき活動ポイント事業」に参加している。 令和5年度は、新型コロナウイルス、インフルエンザによる感染予防対策に留意しながら、連絡会議や研修会を行い、食中毒予防啓発パレード他、地域イベント等で、食中毒予防キャンペーン事業を実施した。また、可能な範囲で、児童、介護施設職員、食品事業者や市民に「衛生的な手洗い方法」の講習を実施した。
基本方針③	○ 基本方針①の項に同じ。 ○ 公衆衛生の向上には地域社会の努力が必要であり、地域社会における公衆衛生活動として、主に保健所、保健センター等で、①生活習慣（食生活、運動、休養、喫煙、飲酒）の適正化、②栄養改善、予防接種、健康診断、③食中毒・感染症予防などが行われていることについて講習会等を通じて、食品関係事業者や市民に情報を提供した。

【公益財団法人 広島原爆障害対策協議会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針①	がん ○ がん検診受診率向上の為検診/健診の利便性を高める ・5つのがん検診(大腸・肺・胃・子宮・乳がん)と特定健診の同時開催を87回実施予定 ←84回昨年度実施 ・夜間の集団検診を延5会場で実施(肺がん・大腸がん・乳がん及び健康診査) ・協会けんぽ被扶養者を対象とする特定健康診査と5大がん検診の同時開催を延6会場で実施 ・広島市健康づくりセンターにおいて、平日に加えて引き続き毎月第2,4土曜日、第1,3日曜日は特定健診、肺がん検診、大腸がん検診、胃がん検診(胃内視鏡検査を除く)を実施。加えて第3日曜日には乳がん検診、子宮がん検診を予約制により実施 ・施設胃がん検診においては胃内視鏡検査を50歳以上の方に実施(11月末 1,819件←1,798件昨年度11月末) ・胃透視による胃がん検診の受診者で「慢性胃炎」の所見がある場合、事後指導でピロリ菌に感染している可能性が高い事を通知 ○ 成人喫煙率の減少;詳細は「COPD」を参照 ○ 健康科学館にて以下のパネル展を実施 ・パネル展「乳がん」 令和5年10/1~10/31、「女性の健康」 令和6年3/1~3/31 予定、「たばこ・アルコールと健康」 令和5年5/1~5/31
	循環器疾患 ○ 喫煙者・耐糖能異常者・高血圧者などの動脈硬化の疑われる受診者に対し CAVI 検査や頸動脈超音波検査を行って異常者に対しては事後指導を行い、治療等が必要な者には医療機関を紹介 ○ 健康科学館にて以下のパネル展を実施 ・パネル展「たばこ・アルコールと健康」 令和5年5/1~5/31
	糖尿病 ○ 健診での耐糖能異常者に早期発見の為 75gOGTT 施行 32件(11月末) ←39件 昨年度11月末 この対象者に生活習慣のききとりを実施し、生活習慣改善の指導を行った ○ 健康科学館にて以下のパネル展を実施 ・パネル展示「糖尿病予防」 令和6年2/1~2/29 予定
	COPD ○ 希望者(加熱式たばこ含)に対し、禁煙外来実施 6件(11月末) ←7件 昨年度11月末 ○ 健康科学館にて以下のパネル展を実施 ・パネル展「たばこ・アルコールと健康」 令和5年5/1~5/31
基本方針②	次世代 ○ 健康科学館にて以下の企画展・特別展・講座・パネル展を実施 ・企画展「わくわく★あそびの世界へ」 R5.7/22~11/5 「からだは食でできている 地元食材でパワーアップ」 R6.3/16~7/7 予定 ・児童福祉月間事業「親子でラジオ体操」 R5.5/4 13名 「親子けん玉教室」 R5.5/13 30名 ・健康講座「じょうぶな骨をつくろう」 R5.4/4 12名 「こどもの頃からのからだづくり」 R5.10/14 14名 「お口の中の知らない世界」 R6.2/25 予定 ・学習イベント「科学館で自由研究」 R5.7/26~28 45名、8/4~6 31名、8/24~25 18名 「クイズラリー」 R5.7/30 48名、8/11 72名 ・わくわくイベント「君も科学者!実験に挑戦」 R5 48名 8/13 26名 「カプラで遊ぼう」 R5.8/15~18 347名、12/2~3 51名 「夏の思い出 自分らしい絵手紙を描こう」 R5.8/19 14名 「お正月あそびを楽しもう」 R6.1/7 予定 ・簡単工作「スケスケ人体模型」 R5.8/3 57名 ・パネル展「食育」 R5.4/1~4/30、「お口の健康」 R5.6/1~6/30 「からだ大冒険(消化管)」 R6.1/5~1/31 予定、「女性の健康」 R6.3/1~3/31 予定 ・育児講座「元気な歯でハッピー 歯科衛生士のお話」 R5.6/11 18名 「親子でリフレッシュヨガ」 R5.9/29 51名 「だっこでベビーダンス」 R5.10/19 30名 「パパのための子育て実践講座~ふれあい遊びでパパも体力アップ」 R5年11/19 26名

項目	令和5年度取組状況	
基本方針②	働く世代	基本方針1と同様 ○ 5つのがん検診と特定健診の同時開催 87 回実施予定 ○ 夜間の集団検診を延 5 会場で実施（肺がん・大腸がん・乳がん及び健康診査） ○ 広島市健康づくりセンターにおいて、平日に加えて引き続き毎月第 2, 4 土曜日、第 1, 3 日曜日は特定健診、肺がん検診、大腸がん検診、胃がん検診（胃内視鏡検査を除く）を実施。第 3 日曜日には乳がん検診、子宮がん検診を予約制により実施 ○ 休日の集団検診（特定、大腸・肺・胃がん検診）の同時実施 ○ 特定健診において、健診受診日に特定保健指導を同時実施 - 動機づけ支援 267 件←昨年度 251 件（いずれも 11 月末） - 積極的支援 158 件←昨年度 184 件（いずれも 11 月末） ○ 健康科学館にて以下の企画展・講座・パネル展を実施 ・企画展「からだは食でできている 地元食材でパワーアップ」 R6. 3/16～7/7 予定 ・健康講座「あなたの骨は大丈夫？筋肉どれくらい？」 R5. 4/20 19 名、R5. 6/22 21 名 「栄養バランスのとれた食事で免疫力アップ」 R5. 11/17 25 名 「日常生活の運動を取り入れて体力アップ」 R5. 11/17 24 名 「生活習慣と感染症」 R5. 11/17 18 名 ・パネル展「たばこ・アルコールと健康」 R5. 5/1～5/31 「乳がん予防」 R5. 10/1～10/31 「女性の健康」 R6. 3/1～3/31 予定 ・育児講座「親子でリフレッシュヨガ」 R5. 9/29 51 名 「パパのための子育て実践講座～ふれあい遊びでパパも体力アップ」 R5. 11/19 26 名
	高齢世代	○ 介護保険要支援・要介護認定者の増加の抑制 ・骨粗鬆症検診受診率の向上及び精検、治療の連携の強化 - 要支援・要介護の原因となる骨粗鬆症による骨折予防の為、検診受診率を向上させ、要精検者には当日精検を実施し医療機関への橋渡しをスムーズに行っている ・ロコモティブシンドロームに対して待合にパンフレットを置き認知度向上に努めている。健診受診者で希望者には有料ではあるがロコモチェックを行っている （11 月末、11 件←5 件昨年度 11 月末） ・軽度認知障害のスクリーニング検査を実施（11 月末 39 件←51 件昨年 11 月末） ○ 健康科学館にて以下の企画展・講座・パネル展を実施 ・企画展「骨コッポーン！鍛えてマッスル！！」 R5. 3/11～7/9 ・健康講座「あなたの骨は大丈夫？筋肉どれくらい？」 R5. 4/20 19 名 R5. 6/22 21 名 「やってみよう！ロコモチェック＆ロコトレ体操」 R5/6/20 30 名 「ピラティスで姿勢を整えよう」 R5/9/12 23 名 ・パネル展「たばこ・アルコールと健康」 R5/5/1-5/31 「お口の健康」 R5. 6/1～6/30、「ウォーキング」 R5. 9/1～9/30
基本方針③		○ 健康科学館にて以下の講座を実施 - ヘルスサポーター育成講座（育児スキルアップ） R5. 6/25 - ヘルスサポーター育成講座（接遇研修） R5. 7/9 - ヘルスサポーター養成講座 R5. 11/17 - ヘルスサポーター養成講座（体験実習） R5. 12/7～10、12/13, 12/17

【特定非営利活動法人 日本健康運動指導士会広島県支部】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 運動不足による健康二次被害の予防、体力の低下に伴う運動指導、運動啓発事業の実施 ①元気じゃけんひろしま 21（第二次）における課題解決として全世代の「身体活動・運動」の増加と座位行動の減少の推進啓発 ②「身体活動指針 2013 及びアクティブガイド」「今より+10 分（プラステン）多く動く」の推進。 ③WHO 身体活動・座位行動 ガイドラインの普及啓発 ○ 日本健康運動指導士会更新必修講座研修会 （公財）健康・体力づくり事業財団更新必修講座開催（R6 年 3 月 17 日予定） 講師：女子栄養大学 津下 一代、帝京大学大学院 金森 悟、 日本スポーツ振興センター 玉井 伸典 ○ 広島県支部主催研修会 令和 5 年 11 月 5 日（日） 広島文化学園大学
	循環器疾患	○ 同様の取り組み ○ 各保健センター主催による生活習慣病予防講座へ当会会員健康運動指導士による講義と運動指導の実施 ○ 循環器疾患予防のための研修講師等 ○ （特定保健指導）運動指導の実施
	糖尿病	○ 同様の取り組み ○ 各保健センター主催による生活習慣病予防講座へ当会会員健康運動指導士による講義と運動指導の実施 ○ 糖尿病重症化予防対策検討委員会において（広島市、広島市医師会、栄養士会、等）糖尿病重症化予防における運動療法の働きかけの取り組みとして、支援内容の検討と実施。
	COPD	○ 同様の取り組み ○ 自粛や運動不足による健康二次被害への運動推進の取り組み ○ 各保健センターや、関係団体へ当会会員健康運動指導士による運動指導の実施
基本方針②	次世代	○ 基本方針 1 と同様 ○ 運動・スポーツを通じた運動習慣のある人の割合を増やす取り組み ①広島 FM ラン&ウォークチャレンジ オールフリーなランニング&ウォーキングイベント 開催日：令和 6 年 3 月 23 日（土）24 日（日） 主催：広島エフエム放送 特別協賛：サンフレッチェ広島、エディオン 後援：広島県、広島市、日本健康運動指導士会広島県支部 ②運動不足による健康二次被害への運動推進の取り組み ・各保健センターや、関係団体へ当会健康運動指導士による運動指導の実施 ・各保健センター主催による、こども園、幼稚園等で親子ヨガ、親子体操等当会会員健康運動指導士による体操運動講座での指導の実施
	働く世代	○ 基本方針 1 と同様 ○ 運動不足による健康二次被害への運動推進の取り組み ○ 企業など「健康経営」を目指す法人へ「健康経営アドバイザー、EX アドバイザー等資格保持者による社員向け運動の推進・指導 ○ ひろしま健康づくり県民推進会議と当会のコラボヘルス ○ 各保健センター 生活習慣病予防講座へ当会会員健康運動指導士による講義と運動指導の開催 ○ 企業 ・産業保健分野との連携（広島産業保健総合支援センター） ・メンタルヘルス対策として不活動の減少の推進 ・女性の健康に関するセルフケア運動の支援



項目		令和5年度取組状況
基本方針②	高齢世代	○ 基本方針1と同じ。運動不足による健康二次被害への運動推進の取り組み ○ 各保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会主催事業へ当会健康運動指導士による運動指導 ○ ロコモティブシンドローム、介護予防、認知症予防、フレイル予防などで当会会員健康運動指導士による講義と運動指導の開催 ○ 深刻化する高齢者の課題に対して運動継続推進のための取り組み ○ 関係各組織と協力し取り組む（公衆衛生推進協議会など） ○ 高齢者サロン運動ボランティアの育成研修など ○ 高齢期の女性の健康に関する運動支援 ○ 百歳体操と併用し運動指導
基本方針③		○ 健康運動指導士・健康実践指導者の資質向上のための研修事業実施 ①支部研修会 令和6年11月5日（日）広島文化学園大学 ②更新必須講座（予定）令和6年3月17日（日） ・演題「健康日本21（第二次）を中心とする国の施策の現況及び健康運動指導士の役割 - 講師：（公財）健康・体力づくり事業財団 理事長 下光 輝一 ・演題「健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策」 - 講師：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター フレイル研究部 大須賀 洋祐 ・演題「健康運動指導士に必要な疾患別ガイドラインの知識（NCD）」 - 講師：日本体育大学大学院体育科学研究科体育学専攻 健康科学・スポーツ医科学系教授成田 和穂 ○ 広島県国民健康団体連合会発行「健康読本」作成 ○ WEB活用による運動普及 ・ひろしま健康づくり県民推進会議と当会のコラボによる「運動不足による健康二次被害を防ぐウォーキング～WEB配信～」 ○ 健診受診後の生活習慣病予防・改善のための運動指導の取り組み ○ 各団体とのコラボヘルスの実施 ・保健医療分野との連携による運動普及推進の取り組み ・産業保健、保険者関係などコラボ協力による運動普及の取り組み ・広島市内の環境を利用した、自然と健康づくりに取り組める歩きたくなるウォーカブルな町を活用し、運動の推進 ○ 運動推進委員の養成・育成 ○ 各協議委員として参画 ・健康ひろしま21（広島県）（他自治体） ・元気じゃけんひろしま21 ・広島市社会教育委員 ・ひろしま県民健康づくり推進会議 ・広島県スポーツ推進審議会 ・広島県スポーツアドバイザーボード

【特定非営利活動法人 ひろしまレクリエーション協会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	次世代	○ チャレンジ体験スクール 2023年6月～2024年2月 全8回 15日間 参加者小学生～高校生 60名 スタッフ30名 ○ サマーキャンプ2023 夏祭りだキャンプ 8月19日(土)～20日(日) 参加者小学生・中学生 59名 スタッフ24名
	働く世代	○ 広島市ウォークラリー大会 5月28日(日) 参加者86名 スタッフ16名 ○ 広島市フラワーフェスティバルブースの運営協力 6月10日(土)・11日(日) スタッフ76名 ○ 広島市スポーツレクリエーションフェスティバル 「スポーツ・レクリエーション体験会」への指導者派遣 10月8日(日) スタッフ28名
	高齢世代	○ ねんりんピック広島予選会 ・カローリング 4月29日(土) 参加者16名 スタッフ10名 ・ウォークラリー 5月28日(日) 参加者25名 スタッフ13名 ○ 地域の健康教室・高齢者サロンへの指導者派遣
基本方針③		○ レクリエーションインストラクター養成講座 2023年5月～2024年2月 全9回 11日間 受講生 10名 スタッフ 10名 ○ レクリエーション見本市 2024年3月3日(日)

【広島県禁煙支援ネットワーク】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん COPD	○ 「第19回研修会」を広島県医師会が幹事団体として、オンデマンド（動画配信）方式で開催予定としている。なお、時期的には、2023年度内を予定している。 ○ スモークフリーアドバイザーの養成を目的に、スモークフリーピンバッジを関係各位に提供している。
基本方針③		

【広島県スーパーマーケット協会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	○ 各方面からの情報や連絡等を加盟企業（13 社）へEメール等で配信。 ○ 各方面からのポスター等の掲示に協力。 ○ 「酒類販売管理者講習」の中で酒類の効用と健康に与える影響（急性アルコール中毒・慢性影響による障害・アルコールによる社会的影響等）について講義及びDVD上映、特に20歳未満の者の飲酒による影響について講義し、20歳未満の者には絶対酒類を販売しないことと、「年齢確認の実行」を実施するよう講義。 【受講者数】 4月：14名、5月：10名、7月：37名、10月：31名 （その他企業内講習2社2回：14名）

【広島市スポーツ推進委員協議会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針③	○ スポーツ推進委員として資質の向上を図るため、各種スポーツ・レクリエーション研修会等に参加し、生涯スポーツの現状と問題点を把握するとともに、各種の研修会や研究大会を開催し、もって広島市の地域スポーツの振興に寄与することを目的とし、下記研修会などを実施した。 ・リーダー研修会・区別伝達講習会 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動指導者の資質を養うため、実技の研修を行っている。また、リーダー研修会参加者は各区で伝達講習会を行い、研修内容の伝達と指導者としての資質・能力の向上を図ることを目的とし開催している。 今年度は、「ラジオ体操」「デュアルタスク体験会」を実施した。 ・実務研修 スポーツ活動中の事故発生に備え、心肺蘇生法の技能を習得し、適切な応急手当を実践する能力を身に着けるため「普通救命講習Ⅰ」を実施。

地域団体

【公益財団法人 広島市老人クラブ連合会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針② 高齢世代	1 市区老連と一体となって、各地区単位クラブは様々な「健康寿命延伸」活動に取り組んでおり、持続可能な「健康づくりと交流の場」を幅広く提供する高齢社会の中核的団体である。 2 主な活動事業 ○ 健康づくりと介護予防 ・グラウンドゴルフ、ウォーキング、ゴルフコンペ等 ・各種健康講座（認知症、癌、生活習慣病、口腔ケア等） ・健康増進教室、百歳体操、スポーツ大会・体力測定会等 ○ 生きがいと教養づくり ・カラオケ、社会見学、文化教養講座、麻雀、絵画等 ・各種教養講座（高齢者詐欺、交通安全等） ○ 仲間づくり ・文化交流サロン、ひとり暮らしの会、誕生会、親睦会等 ・レクリエーション（日帰り・1泊研修旅行、近場社会見学） ○ 友愛と社会奉仕活動 ・ひとり暮らし高齢者「健康交流活動」 ・ひとり暮らし高齢者の見守り、認知症支援、在宅訪問、家事援助等 ・児童登下校の見守り、三世代交流事業 ・地域の環境美化活動 ○ リーダーの育成 ・指導者研修会、女性リーダー研修会等の開催 ○ 老人クラブ加入率向上に取り組む、高齢社会を担う「中心的存在」を目指す。 ・加入促進チラシによる戸別訪問、会員増強推進特別報奨金の交付 ※ 前年同様にコロナ禍の影響で計画事業の多くが中止を余儀なくされ、会員の健康面の低下が危惧されたが、色々工夫しながら可能な限り前向きに取り組む、自助・共助の活動成果を上げた。 3 他団体との連携 ○ 広島市老人福祉施設連盟（老人福祉大会の共催等）、広島市文化財団（ねんりんピック市選手団派遣、高齢者作品展の共催等）、広島市社会福祉協議会、民生委員児童委員連絡協議会、交通安全推進協議会等 ○ 行政（区役所）連携による、会員増強モニター広告放映 ○ 市広報紙「市民と市政」への活動掲載、庁舎内での広報紙・ポスター等の配布・掲示の後方支援 4 令和6年健康活動啓発事項 ○ 高齢化でハードな運動が困難でも、誰もが思いのまま取り組める「健康ウォーキング」の啓発・促進 ・「ウォーキング啓発研修会」 ・単位クラブの「ウォーキング部設立」促進等
基本方針③	○ 基本方針② ライフステージに応じた健康づくりと同様

【社会福祉法人 広島市社会福祉協議会】

項目	令和5年度取組状況
基本方針② 高齢世代	○ ふれあい・いきいきサロンの設置推進 地域の人々が集い、顔の見える関係づくりとして市域 140 地区社協、全市 1,421 箇所を実施。 (R5.4.1 現在) その参加者の多くは高齢者で、ほとんどのサロンは月 1 回以上開催している。内容は健康や食生活に関する講座や軽スポーツ、ウォーキング等、高齢者の健康づくりに資するものが多い。 ○ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 一般介護予防事業の地域高齢者交流サロン・地域介護予防拠点の公募や活動に関する相談に市社協及び区社協に配置された生活支援コーディネーターが関わっている。令和 4 年度は月 1 回以上開催の地域高齢者交流サロン 366 箇所、週 1 回以上開催の地域介護予防拠点 119 箇所。(R5.7.1 現在) ○ 広島市シニア大学・大学院の運営 約 450 名の高齢者が毎月 2 回の講座、サークル活動、自治会活動に参加している。
基本方針③	＜東区の取組について紹介＞ 東区では、地域共生社会の実現を目指し、地域団体や医療・介護関係機関、障害者相談支援事業所を構成員とした「東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を平成 31 年度に設置し、介護予防や健康づくりのため、地域団体や関係機関が連携した好事例の情報交換等を行っている。 (1) 地域ぐるみの健診受診率向上の取組 令和 3 年度から、東区公衆衛生推進協議会、東区地域女性団体連合会等の地域団体や東区医師会、地域包括支援センター等の医療介護関係機関、障害者支援事業所と連携し受診率向上の取組を実施している。 (具体的な取組) ・各会員が自ら受診し、家族や知人への受診勧奨 ・スーパーやコンビニ、郵便局等へのチラシの設置 ・町内会の掲示板へのポスター掲示や回覧 (その他) ・地区担当保健師が医療機関、薬局、歯科医院に対し、受診の声かけやポスター掲示・モニターを活用した広報について、訪問や文書を通じて依頼 (2) 早稲田学区における地域防災プラットフォームの取組 地域共生社会の実現に向けた先駆的な取組として、令和 3 年度から、地域防災の課題を解決するため、行政機関と地域団体のみならず、大学関係者、医師会、公共交通機関、メディア、NPO 法人等が連携・協働する新たなコミュニティ・ネットワークを立ち上げている。 また、この地域防災プラットフォームは、3 か月に 1 回程度開催し、参加者がお互いの活動について情報交換、意見交換を交わしながら顔の見えるゆるやかなネットワークを継続していくことで、平時における各機関・団体との連携が可能になるとともに、いざという時の相互連携や協力を図り、防災・減災に繋げようとするものである。 今年度も 4 回開催し、「わせだ防災プラン」に基づく活動の取組状況や今年度の計画を共有するとともに、各団体の防災に関する取組方針や活動予定、最近の話題等の情報共有を行った。さらには、地域の防災拠点とすべく防災公園としての整備を進めている牛田東第 3 公園に新たに設置した「かまどベンチ」の視察を行い、地域災害対策本部の役割や設置後の関係団体との連携等について意見交換を行い、地域防災力の向上に取り組んだ。

【特定非営利活動法人 広島市公衆衛生推進協議会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①		○ 健康教室（健康づくり運動）の開設（令和5年11月30日現在） ・開催回数：25回 ・参加人員：1,238人 ・各学区（地区）公衛協において、メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの改善、生活習慣病の予防や、新型コロナウイルス感染対策など、健康に関する知識の普及と実践を行った。 ・下記のテーマで健康教室を開催 （例）歩け・あるけ・大会（健康フェスティバル） いつまでも若々しく！老化を防いで身体の中から健康に 元気じゃけん講演会「健康づくりに必要な運動とは」 ○ 健康診査受診向上運動 ・「健診サポーター養成講座」を受講し、受診勧奨のための知識・情報を得た。 ・地域において受診勧奨チラシを配布するなど、健康診査やがん検診の受診向上運動を実施した。
基本方針②	高齢世代	○ 健康教室（健康づくり運動）の開設（令和5年11月30日現在） ・開催回数：22回 ・参加人員：912人 ・生活習慣病の予防のほか、精神疾患、介護や認知症の予防をテーマに知識の普及と実践を行った。 ○ 健康診査受診向上運動 基本方針①と同様
基本方針③		○ 地域ぐるみの公衆衛生組織活動 学区（地区）、区、市のそれぞれのレベルで、各種環境保全や環境美化活動を行うとともに、公衆衛生推進委員の資質向上を図り、地域住民の連帯意識と相互のよりよい人間関係づくりを構築した。 ①地域一斉清掃・門前清掃 ②散乱ごみ追放運動 ③平和記念公園一斉清掃 ④環境講座 ⑤清掃施設見学 ⑥公衆衛生推進委員の研修、講習 ⑦啓発用看板等

【広島市学区体育団体連合会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	次世代	○ 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル ・期日：令和5年10月8日（日） ・広島市、公益財団法人広島市スポーツ協会、広島市学区体育団体連合会、広島市スポーツ推進委員協議会、中国新聞社の主催で開催した。 ・自由参加のスポーツ・レクリエーション体験会では、普段体験できないニュースポーツをスタンプラリー形式で開催。 ・子どもたちに、身体を動かす楽しさを感じるきっかけづくりができた。
基本方針③		地域社会体育の発展を期するためスポーツ・レクリエーションの普及に努め、市民の健康と体育・文化の伸暢に寄与することを目的とし活動している。 ○ スポーツ講演会開催事業 スポーツを通じて、生涯にわたって心身ともに豊かな生活の実現に資することを趣旨として講演会を行っている。 ・期日：令和5年11月18日（土） ・場所：広島国際会議場 ダリア ・参加人数：313人 ・演題：「社会に必要とされるスポーツのあり方」 ・講師：出口 達也 氏（広島大学大学院人間社会科学研究科 教授）

【広島市子ども会連合会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	次世代	○ 第44回夏季球技中央大会 ・期日：令和5年8月27日（日） ・場所：佐伯運動公園 ・主催：広島市子ども会連合会 ・後援：広島市教育委員会・（公財）広島市スポーツ協会・広島市ソフトボール協会、広島フットベースボール協会 ・チーム数：男子ソフトボール 14 チーム・女子フットベースボール 14 チーム ・参加人数：約 900 名（指導者等含む） ・各区の代表が一堂に会し相互の親睦を深めることができた。また、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成も図ることができた。

【広島市地域女性団体連絡協議会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針①	がん	○ 定期健診の受診率が低いのでその旨の説明をして受診するように奨励している。 ○ チラシなどの配布により会員に啓発している。
基本方針②	高齢世代	○ いきいき百歳体操の実施 ○ グラウンドゴルフ ○ ウォーキング
方針③	基本	○ 地域に根差した女性団体としての特性を活かし、女性の視点から地域と人とのつながりや支え合いを深める。

【広島市民生委員児童委員協議会】

項目		令和5年度取組状況
基本方針②	次世代	○ 健康相談室やオープンスペース等を人数制限なしで開催することができた。同世代の親子の交流や相談が再開し、幼児向けの本選びや遊び方、保健師や保育士との関わりも少しずつ実施できた。そこで栄養等の話もされた。保育園や小学校・中学校からの“たより”から、子どもたちの学校の様子や健康状況の情報を知ることができ、家庭へのフォローや声かけにつながった。
	働く世代	○ 生活習慣病予防や早期発見を呼びかけ、掲示板やポスティングで特定健診の情報を提供し、周知を図った。 ○ 親の介護等がかかえている世代でもあるので、高齢者用の栄養、口腔ケア、フレイル等の情報プリントの配布も始めた。
	高齢世代	○ コロナは落ち着いたがインフルエンザ等が流行し始め、巣ごもりは多く、フレイル、人との交流が少ない方が多い。 元気な方は百歳体操等、サークル活動を活発にされたり、公民館のプログラムでいろいろ研修されている。 精神的な不安軽減のため、地域での見守りを強化し、包括支援センター、社協と協力しニーズにあった事業、また見守り事業の登録等に力を入れてきた。
方針③	基本	○ いろいろな方法を工夫し、全世代に健康に関する情報が提供できるよう努めた。